



(3 ページに関連記事)

目次

一般ニュース	2
総長の海外出張、評議会 (5 月 14 日 (火))	
承認事項、名誉教授の称号授与	
特別記事	3
春の紫綬褒章受章、記者会見行われる	
掲示板	5

「初心者水泳講習会の開催」、「江戸期の俳

≡ 一般ニュース ≡

総長の海外出張

平成14年5月18日(土)~

この規則は、「組換えDNA実験指針」(昭和54年8月内閣総理大臣決定(平成13年1月から文部科学大臣決定))及び「大学等における組換えDNA実験指針」(平成3年1月文部科学省告示第4号)によって運用されてきたところであるが、その後の組換えDNA研究に係る知見の集積を基に、平成14年1月上記指針が統一され、「組換えDNA実験指針」(平成14年1月文部科学省告示第5号)が示されたことに伴い所要の改正が行われた。

附 則

この規則は、平成14年5月14日から施行し、改正後の東京大学組換えDNA実験実施規則の規定は、平成14年3月1日から適用する。

東京大学医学部附属病院規則の一部改正

平成14年度から中央診療施設として新たに感染制御部が設置されたこと、また、保健婦助産婦看護婦法(昭和23年法律第203号)の一部改正により、「看護婦」等の資格の名称が「看護師」等に改められたことに伴い所要の改正が行われた。

附 則

この規則は、平成14年5月14日から施行し、改正後の東京大学医学部附属病院規則の規定は、平成14年4月1日から適用する。

大学間学術交流協定

- ・東京大学とリンシェピン大学(スウェーデン)との間における学術交流に関する大学間協定の締結
- ・東京大学とピサ高等師範学校(イタリア)との間における学術交流に関する大学間協定の締結

名誉教授の称号授与

5月14日(火)に開かれた評議会で、東京大学名誉教授称号授与規則により、次の元教授23人に名誉教授の称号を授与することになった。

部局	氏 名	担 当 講 座 等
大・医	金 澤 一 郎	臨床神経精神医学講座
大・医	高 橋 泰 子	看護学講座
大・医	荒 記 俊 一	社会予防医学講座
大・工	石 谷 久	資源エネルギーシステム講座
大・工	玉 井 信 行	社会基盤サイエンス講座
大・文	榉 山 紘 一	西洋史学講座
大・理	山 田 作 衛	高エネルギー物理研究部門
大・理	永 嶺 謙 忠	附属中間子科学研究センター
大・理	柴 田 徳 思	学際研究
大・農	瀬 尾 康 久	生物システム工学講座
大・農	平 井 篤 志	基礎生物学領域講座
大・養	福 永 哲 夫	運動適応科学講座
大・養	保 坂 一 夫	ヨーロッパ・ロシア地域文化講座
大・養	國 重 純 二	北米・中南米地域文化講座
大・養	川 口 昭 彦	生命機能論講座
大・育	近 藤 邦 夫	学校教育開発学コース
大・薬	長 尾 拓	医療薬学講座
地震	井 田 喜 明	附属火山噴火予知研究推進センター
地震	吉 井 敏 尅	附属地震予知研究推進センター
東洋	後 藤 明	西アジア研究部門
史料	菅 原 昭 英	古文書・古記録部
物性	寺 倉 清 之	理論部門
産学	輕 部 征 夫	生物工学分野

≡ 特別記事 ≡

春の紫綬褒章受章、記者会見行われる

佐藤勝彦、御子柴克彦両教授、及び木谷収名誉教授の紫綬褒章受章の記者会見が、4月26日に行われた。

佐藤勝彦教授が紫綬褒章を受章

本学理学部長・大学院理学系研究科長である佐藤勝彦物理学教室教授が紫綬褒章を受章されました。

佐藤教授は、1975年、重力収縮直後の超新星の中心部で高エネルギーニュートリノが10秒間程度閉じ込められた状態になることを理論的に示し、重い星の進化の最終段階である超新星爆発の物理機構解明の端緒を切り開きました。実際、この「ニュートリノ閉じ込め」が確かに起っていることが、その12年後、本学の神岡実験グループによる超新星1987Aからのニュートリノ検出によって実証されました。また、最新の素粒子物理理論を宇宙現象に応用する方法論を積極的に提案し、「素粒子論的宇宙物理学」と呼ばれている分野を開拓しました。

とりわけ、1980年に誕生直後の宇宙にはその大きさが時間の指数関数で急速に膨張時期が存在することを、米国のグース氏（現在MIT教授）と独立に指摘しました。さらに、今では「インフレーション」と呼ばれて広く知られているこの理論に基づいて、宇宙の多重発生、バリオン数の起源、宇宙の密度、ゆらぎの起源、に関する数多くの画期的なアイデアを提唱しました。インフレーション理論の予言は、2001年に発表されたマイクロ波背景放射の高角度分解能気球実験により観測的にも確認されており、素粒子論的宇宙論モデル構築における最も基本的なパラダイムとして完全に定着しています。このように、佐藤教授の先駆的かつ独創的な研究の数々は、その後の宇宙物理学の発展において極めて重要な影響を与えたものとして、国内外で高い評価を受けています。

（大学院理学系研究科 須藤靖）



佐藤勝彦教授

御子柴克彦教授が紫綬褒章を受章

医科学研究所の御子柴克彦教授が本年度の紫綬褒章を受章されました。

御子柴教授は発生と分化の過程に異常を示すマウスの突然変異体（ミュータント）と正常動物を分子生物学的に比較解析する手法を導入することによって、複雑な構造と機能を有する脳神経系の発生・分化の問題を次々と明らかにし、今日の分子神経科学の発展に大きな貢献を果たして

（医科学研究所 井上貴文）



御子柴克彦教授

木谷収名誉教授が紫綬褒章を受章

本学農学生命科学研究科名誉教授、現日本大学教授の木谷収先生が平成14年度春の紫綬褒章を受章された。

木谷先生は、農業機械学の分野において、研究・教育に努められ、日本および世界の農業機械化の発展に貢献された。また、農業におけるエネルギー・資源問題の研究において先駆的役割を果たすとともに、社会への啓蒙と施策に力を尽くされた。このたびの受章は、これらのご功績に対して授与されたものである。

耕耘機械と土壌動力学の研究では、耕地のような膨軟な土壌の力学の基礎になる、新しい構成方程式を導き、さらに、塑弾性有限要素法を用いて耕うん土壌の応力解析を行ったニューマティック耕うんに関する基礎研究では高い評価を受けた。この研究は、空気力で土壌を耕耘するための基礎研究で、果樹の根を傷めないで、果樹園を中耕する機械等に应用されている。消費エネルギーの大きい耕耘機械のエネルギー低減や、石油燃料に替わる太陽エネルギー、バイオマスエネルギーの開発の研究では、消費エネルギーが少ない耕耘機械設計の鍵となる耕耘刃の形状や運動を明らかにし、省エネ耕耘機械開発に貢献した。代替エネルギーの研究では、太陽熱エネルギーで灌漑するシステムやバイオマスエネルギー変換する装置の基礎研究で成果を挙げた。

(農学生命科学研究科 岡本嗣男)



木谷収名誉教授

≡ 掲示板 ≡

初心者水泳講習会の開催

//www.lib.u.tokyo.ac.jp/koho/tenjikai/

初心者の方を対象に、今年度も下記のとおり水泳講習会を開催します。

(附属図書館)

- 1 . 日 時 : 6月18日 5時～8時 0名 (定員になり次第実施)
- 5 . 受講料 : 500円 (6 回分)
- 6 . 受 付 : 5月20日 (月) 9時30分～10時30分
- 7 . 説明会 : 6月14日 (金) 17時30分～18時00分
- 8 . 講 師 : 東京大学水泳同好会 (日本水泳連盟公認指導員)
- 9 . その他 : 問い合わせは、学生部 (電話 : 22559)

大学院情報理工学系研究科は、マイクロソフト株と共催で、近未来の情報技術と人々の生活、社会に関する表

御殿下記念館第一研修室 (御殿下記念館第一研修室の右隣)

Bridging People and Society - 人と社会をつなぐ情報環境運動会受付

マイクロソフトの最高

スティーブ・バルマー氏には基調講演 (学生部主催) として、学生を含む広い人々を対象にピ

「江戸期の俳書展」のお知らせ

6月7日(金)～6月26日(水)開催

附属図書館では、「肉内」の夜桜4年を、6月7日(金)～26日(水)の期間、総合図書館3階大会議室Cでマルチメディア展示

- 1 . 日時 : 2002年6月24日(月) 13 : 00 ~ 17 : 00 (受付開始 12 : 30)
- 2 . 会場 : 東京大学・安田講堂
- 3 . 共催 : 大学院情報理工学系研究科、マイクロソフト株
- 4 . 参加 : 無料 (ただし、以下Webより事前申し込みを要する)
- http://www.iu.tokyo.ac.jp/news/news.htm

- 5 . 内容 (司会) 辻井潤一 (大学院情報理工学系研究科 教授)
- 13 : 15 開会の辞 (司会) 辻井潤一 (大学院情報理工学系研究科 教授)
- 13 : 30 基調講演 「 The Vision of Future Environment 」 スティーブ・バルマー (マイクロソフト コーポレーション CEO (最高経営責任者))
- 14 : 45 「 自然言語対話による自動質問応答システム 」 黒橋禎夫 (大学院情報理工学系研究科 助教授)
- 15 : 25 「 空間共有コミュニケーションのためのマルチメディア処理 」 相澤清晴 (大学院新領域創成科学研究科 教授)
- 16 : 05 「 キャラクターエージェントによる新形態マルチモーダル・メディア 」 石塚 満 (大学院情報理工学系研究科 教授)
- 16 : 45 閉会の辞 辻井潤一
- 使用言語 : 日本語 / 英語
- 問合せ先 : 大学院情報理工学系研究科・渉外委員会 石塚 満 (大学院情報理工学系研究科 教授)
- Tel (03) 5841 6347 Fax (03) 5841 8570
- Email : ishizuka@miv.t.u.tokyo.ac.jp

東京大学浅野地区工学部武田先端知ビル地点から検出した方形周溝墓一般公開のお知らせ

埋蔵文化財調査室では、生産技術研究所・先端科学技術研究センター他の主催で行われる、東京大学駒場 リサーチキャンパス オープンキャンパスで工学部武田先端知ビル地点で検出した弥生時代の方形周溝墓を出展することになりました。

東京大学浅野地区 工学部武田先端知ビル地点は、「弥生時代」「弥生式土器」の名称のきっかけとなった壺形土器が、明治17年に発見された「向ヶ丘弥生町」の一角に位置します。東京大学文学部他が浅野構内で調査を行った東京大学構内弥生二丁目遺跡は、現地保存され国の史跡に指定されています。弥生町遺跡は、「学史上の遺跡」として知られており東大構内に残る貴重な文化財です。昨年、浅野地区 工学部武田先端知ビル地点で発掘調査を行った結果、弥生時代の埋葬施設である方形周溝墓を検出し、弥生式土器・ガラスビーズ・管玉が出土しました（学内広報 1231）。調査後、方形周溝墓のかたどりの保存が決定し、現在、駒場 リサーチキャンパスで展示資料化作業を行っています。当日は、方形周溝墓・出土遺物の展示を予定しています。

日時：6月6日(木)・6月7日(金) 10:00~16:00

会場：東京大学駒場 リサーチキャンパス内

展示場所：東京大学埋蔵文化財調査室（旧39号館）

問い合わせ先：03 - 5454 - 8421

参加費無料、参加自由



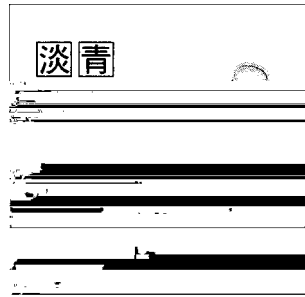
浅野地区 工学部武田先端知ビル地点検出方形周溝墓
(埋蔵文化財調査室)

想像力が足りないぞ

どうも日本が構造的におかしい。政治のトップからシモジモの庶民まで、お粗末な出来事の連続である。何でこうなったか考えるに、いささか突飛だが、我々の想像力が貧困になってきたことが遠因の一つではなかろうか。世の中が豊かで平和になり、日本全体がおそろしく均質化し、どの街を尋ねても

同じチェーン店が軒を並べるようになると、みな自己中心のちっぽけな世界観に安住してしまい、その外には異なる文化、異なる発想、異なる体験が無尽蔵に広がっていることに、気づかなくなってしまう。感性の枯渇である。

私の専門とする物理の世界でも、同様であると思う。かつては特殊関数を計算したり微分方程式を解くため、巧妙な近似方法がさまざまに考案され、見えないものを何とかして見ようとする手練手管が深められた。実験装置にしても、絶妙なアイデアと職人芸に支えられた芸術品が数多く生み出されても、



(淡青評論は、学内の職員の方々をお願いして、個人の立場で自由に意見を述べていただく欄です。)

